

誤接続防止コネクタの導入（経腸栄養分野）



図1 PMDA 医療安全情報 2019.07 <https://www.pmda.go.jp/files/000230589.pdf>

2019年12月より薬剤を注入していた注入器などの経腸栄養分野の器具が国際規格 (ISO80369-3) に変更された。従来の注入器の出荷は、2021年11月末に終了する (図1)。新規格 ISO80369-3 の注入器先端は内径が2.9mmに規定されている (図2)。内服薬経管投与ハンドブックの経管投与可否判定基準における適1、適2の薬剤の通過性は8Fr.チューブで評価しており、外径が2.7mmである。ISO80369-3に変更しても適1、適2の薬剤の通過性は問題ない。しかし、太い16Fr.や18Fr.のチューブであれば通過する薬剤は不適となる。14Fr.通過の薬剤については、どちらとも言えず今後、検討する予定である。



図2 新規格栄養チューブ (ISO 80369-3)の切り替え